

お願い

この説明書は実際にご使用になられる方のお手元にも必ず届くようお取り計らいください。

# 耐圧防爆形ブザー取扱説明書

## BXS-50-※

このたび坂本電機製耐圧防爆形ブザーをご採用いただきありがとうございます。  
この説明書は、BXS形ブザーの取扱、保守について述べたものですから、ご使用前にご熟読の上、据えつけ、保守、点検などに正しくご活用ください。

お読みになった後は、お使いになる方がいつでも見られるところに必ず保管してください。

### (株)坂本電機製作所

本社・和白工場 〒811-0202 福岡市東区和白3丁目27-55

TEL:(092)606-2731 FAX:(092)608-1984

津屋崎工場・器具営業 〒811-3304 福津市津屋崎7丁目23-40

TEL:(0940)72-4193 FAX:(0940)72-4197

大阪営業所 〒536-0022 大阪市城東区永田4丁目15-24

TEL:(06)6961-0084 FAX:(06)6961-0085

## 1、ご購入時の点検について

ご注文通りの製品が届きましたか。輸送中の振動、事故等で破損していないかご確認ください。

- (1) 輸送中に破損したところはないか。  
外装等に損傷がないかご確認ください。
- (2) ご注文通りの製品かどうか。  
銘板に表記された形式、定格がご注文通りかをご確認ください。  
万一、不具合などがありましたらご購入先、若しくは弊社窓口にご連絡ください。

## 2、ご使用される周囲環境について

本機器は下記の周囲環境条件でご使用になれます。(特にご指定のある機器については、納入時の最終仕様図に記載されています。)

- (1) 温度:  $-10\sim+40^{\circ}\text{C}$ 、但し氷結なきこと。
- (2) 相対湿度: 85%以下、但し結露なきこと。
- (3) 防食性雰囲気のある場所ではご使用になれません。
- (4) 本機器は※1種場所・2種場所の爆発性雰囲気で使用することが可能です。  
※1種場所: 危険性雰囲気が正常状態で生成することがある場所。  
2種場所: 危険性雰囲気が正常状態で生成することはなく、たとえ生成しても短時間しか存在しない場所。

## 3、据付について

据付が悪いと、正常に動作せず機器が破損する場合があります。次の点にご注意ください。

- (1) 強固で平坦な面に取付けてください。
- (2) 取付ねじは2本のM10ボルト(供給外)及び、スプリングワッシャなどでゆるみ防止を施した上で締め付けてください。
- (3) 据付け場所が浸水や塵埃の侵入の恐れがある場合、取付け途中、若しくはそれ以前に放置することは避けてください。正常な取付状態、及びケーブル引込状態で保護構造機能が有効です。
- (4) 本機器は外装接合部が全て防爆面にて防爆性を保持しております。不要な分解は避けてください。又、ケーブルを接続する場合は産業安全研究技術指針RIIS-TR-94-2に準じ工事を行う必要があります。その他の取扱についても本指針(ガス防爆機器)に準ずる必要がありますのでご注意ください。

## 4、配線について

- (1) 端子箱のカバーを外しケース内の端子台にケーブルを接続します。端子(M4)への接続は絶縁スリーブ付圧着端子を使用するか、裸圧着端子をご使用の場合は圧着部を絶縁チューブで保護してください。
- (2) 接地は必ず行ってください。端子箱内部のM4接地端子の利用をお勧めします。
- (3) ケーブルグランド付の場合は、ケーブル仕上外径とグランド内部のパッキン内径が適合することをご確認ください。グランドに固定後はケーブルを引張って、98Nの張力では抜けないことをご確認ください。
- (4) 電源から遠い距離に設置される場合、電圧降下ができるだけ少ないように配慮してください。音量が低下する場合があります。
- (5) 屋外設置の場合は呼吸作用による浸水(外気温度差による浸水)を防止するため、グランドとケーブル接合面をコーキング(ゴム系コンパウンド充填)してください。
- (6) 外部電線の引込方法やその他取り扱いについては防爆指針に従ってください。

## 5. 保守点検について

### (1) 点検時期

使用頻度、使用条件、環境により点検時期は左右されますが、少なくとも1ヶ月毎に点検してください。

### (2) 点検項目と処置方法

点検項目	処置方法	備考
鳴動することを確認ください。	必要な入力を加えて鳴動することを確認してください。	
外観の傷、凹みなどがありませんかご確認ください。	使用可か否かを判断し、不可もしくは判定不能なら現品交換をしてください。	
塗装のはげ、錆がないことをご確認ください。	軽傷なら錆を除去後、補修塗装、判断が困難なら現品交換をしてください。	
屋外や水滴のある場所でご使用の場合、内部に浸水の形跡が無いことをご確認ください。	浸水跡がある場合、製品交換か、軽微なら乾燥後、浸水原因を調べ、対策を施してください。	
取付ねじ、連結部ねじなどにゆるみがないかをご確認ください。	増締めをしてください。据付ボルトがゆるんだ場合はより強固な回り止めを施してください。	
引込ケーブルに損傷がないかをご確認ください。	損傷がある場合、再配線をしてください。	
絶縁抵抗をご確認ください。	電源端子と非充電金属部500Vメガにて測定をしてください。外部電路を外し10MΩ以下なら交換化結露の有無を点検してください。	
その他の使用者決定事項		

### (3) 点検の注意

検査時は、電源が確実に切られていることをご確認ください。

内部機構は出荷前に調整をおこなっていますので、手を加えないでください。

防爆性能を確保する為、耐圧防爆面に、塵埃や傷がつかないように十分ご注意ください。

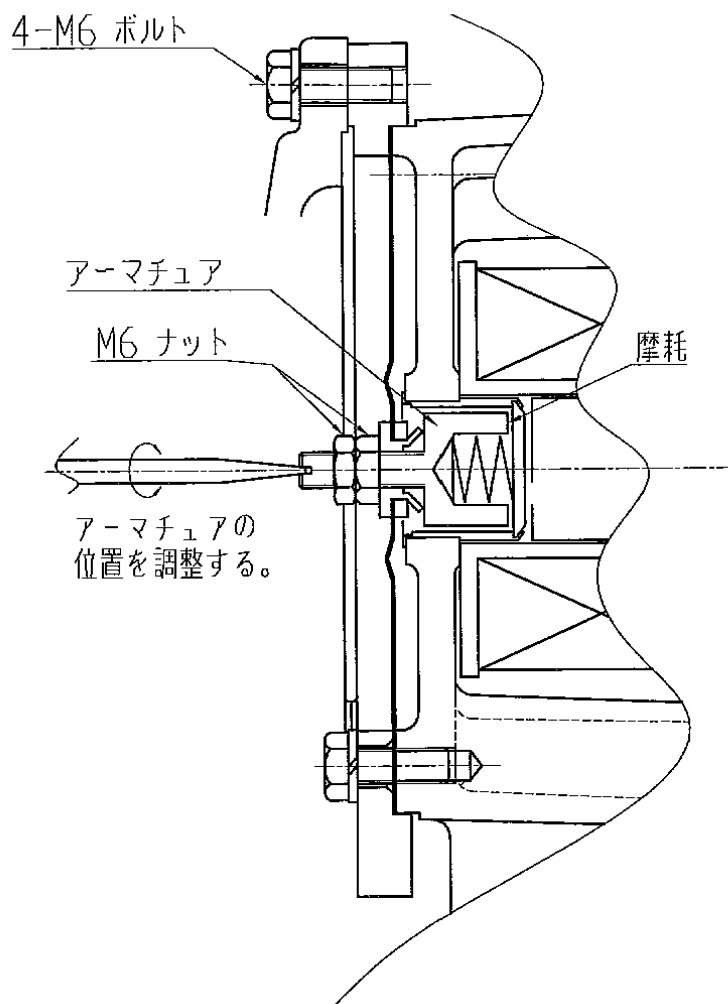
完了時、点検箇所を再確認し、カバーを取付けてください。

## 6、音量調整方法

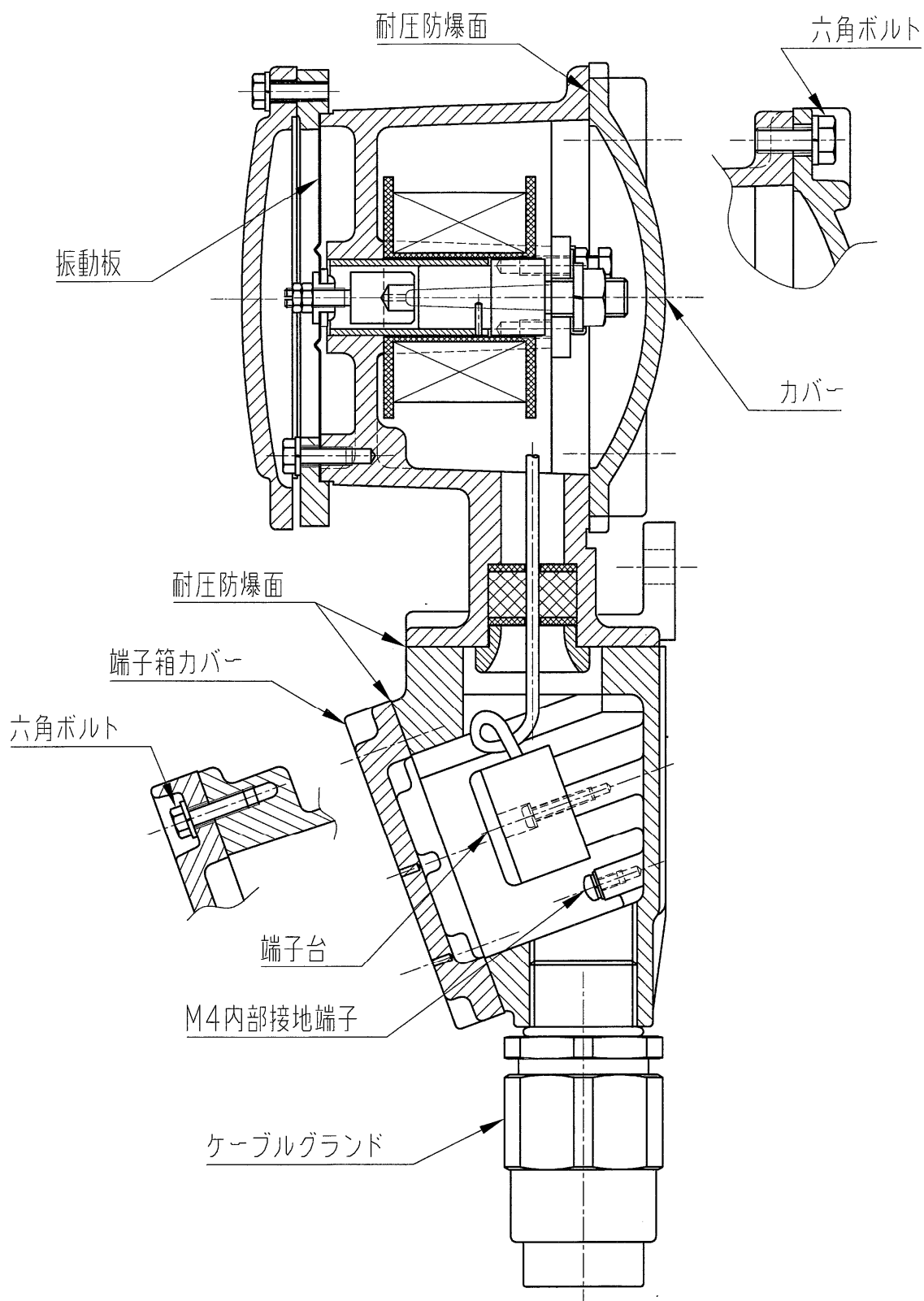
使用条件によって変わりますが、鳴動時間が50時間を超えると音量が低下する場合があります。  
これは、アーマチュアが信号衝撃により摩耗し、エアギャップが広がった場合に発生します。  
下記の指示の調整方法にしたがって調整してください。

### 調整方法

- (1) 前面のカバー(4-M6ボルト)を外してください。
- (2) アーマチュアを固定している、M6ナットを緩めてください。
- (3) アーマチュアのネジ溝を利用して、エアギャップを調整(右に約0.5回転ほど)し、音量が最大になるようにしてください。(その他の箇所は分解しないでください。)
- (4) 調整後、(2)で緩めたM6ナットを増し締めしてアーマチュアを固定してください。
- (5) 前面カバーとM6ボルトで取付けてください。



付図1-1 耐圧防爆形ブザー BXS 構造図 (機種:BXS-50-C)



※電線管ねじ結合方式(P方式)の場合、ケーブルグラウンドは供給外となります。